

平成29年度第2回箕面市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

開催日時	平成29年12月15日(金) 15:30~16:30
開催場所	箕面市役所 本館2階 特別会議室
出席委員数	10名
欠席委員数	3名
傍聴者数	3名

【案件1】 箕面市一般廃棄物処理計画について

【案件2】 その他

事務局	<p>【案件1】 箕面市一般廃棄物処理計画について</p> <p>箕面市一般廃棄物処理計画(案)について、概要版で説明</p> <p>【主な質疑応答】</p>
委員	<p>不法投棄の未然防止対策の強化について、最近は減少傾向にあると記載されているが、具体的なデータはあるのか。</p>
事務局	<p>具体的なデータはありませんが、山間部への多量の不法投棄が減少している。</p>
委員	<p>しかしながら、一部の地域にはまだ不法投棄が不定期に放置されているが、監視カメラの設置等されていると思うが効果などはどうなのか。</p>
事務局	<p>現在1カ所に1ないし2台しか設置できていないので犯人特定には至っていないので、カメラの台数を増やしていく予定である。</p>
委員	<p>焼却炉の工事ということだが、現在の焼却炉能力はどのになっているのか。また、マナーが悪い点とはどのようなことをさしているのか。</p>
事務局	<p>1日当たり114トンの搬入がある。現在の焼却炉は2炉あり、1炉の能力は135トンで2炉交互に運転している。1炉稼働させても少しごみ不足状況ですので、基</p>

	<p>幹改良工事では 120 トン程度の炉とする予定です。</p> <p>マナーの件については、ワンルームマンション・ステーション等でごみの分別が守られないことがあり、ごみの散乱等を招いていることが多いことを示しております。</p>
委員	<p>5%の減量目標が大きいのか小さいのかわからないが、ごみの組成の構成比の高いところをターゲットに施策を実施すればいいと思うが、それが施策の「資源ごみのリサイクル推進」に当たるのか。</p>
事務局	<p>紙ごみについては集団回収に参加できない地域の方もおられ、それらの対策としての補完的な施策の検討、プラスチックについては、容器包装プラスチックを実施していましたが費用対効果の面などで中止し、効果の高いペットボトルを全市で回収しています。</p>
会長	<p>紙ごみについては、今後も自治会や子ども会の集団回収で対応していくということですか</p>
事務局	<p>集団回収の継続と補完と言うことで、集団回収以外の回収方法も検討して行くこととしています。</p>
委員	<p>事業系ごみの減量についての問題点で、排出事業者との関係が希薄であるとなっているが、箕面市においてごみ排出量の多い事業は把握しているのか、減量の協力が得られるのか。</p>
事務局	<p>大規模小売店舗や月 5 トン以上排出する事業所に減量計画書の提出を義務づけている。また、事業所への立ち入り検査も行っている。</p>
委員	<p>「一般廃棄物と産業廃棄物のより厳密な峻別」とあるが具体的には。</p>
事務局	<p>事業活動に伴って出る空きかん・空きびん・ペットボトルは産業廃棄物にあたる。鉄類についても産業廃棄物にあたる、ただし、空きかん・空きびん・ペットボトルについては、合わせ産廃として市で処理することも検討する。</p>
委員	<p>容器包装プラスチック容器の回収について今後もされないのか。</p>
事務局	<p>費用対効果の面で中止して経過もあり今のところ回収する予定はない。</p>
委員	<p>燃やして熱回収すればいいのでは。</p>

事務局	市の焼却工場にはボイラーがありますので、熱回収し発電している。
委員	
会長	がっていることがわかっているため検討してみてもどうか。今まで資源となるごみを出せない人や地域が出せればリサイクル率も上がって焼却ごみも減ると考えます。
委員	<p>集団回収と市の回収が両立できているところも、色々な課題をクリアし実施に至っていると思われ、それらを調査して費用対効果も含めて検証をしてはどうか。制度的に少し詰め議論と検討を行い、見える形で出していきたい。</p>
委員	<p>集団回収の回数を増やしてはどうですか。</p>
委員	<p>回収する立場からの意見としては、回収回数に量が比例しないと効率が悪い。</p>
事務局	<p>使用可能なリサイクル品をストックし、定期的に障がい者団体が運営する店舗にリサイクル品として提供しているとの話がだが、市で集めるのではなく直接持っていける情報提供が、市民に浸透できていない。</p> <p>もう一点が資料2-3マイバッグの推進について、行政と事業所で提携して取り組んでいるといったポスターがあると説明もしやすい。</p>
事務局	<p>リサイクル品は店で取り扱えるものだけを選択して持って帰っている。交通整理が必要かとは思いますが少し考えたいと思います。</p> <p>もう一点は、事業者と北摂7市2町の自治体が来年の4月1日に向けてレジ袋の無料配布の中止、マイバッグの持参の推進運動の実施に向けて今動いている。今の意見はほかの事業者に訪問した時にも聞いているので、事業所が取り組みやすい仕組みを検討する上で承っておきます。</p>
委員	
会長	<p>マイバッグについては、非常に有意義な取り組みであり、店舗からはキャッシュバックなどの還元もある。マイバックがごみの減量としての協力としているのなら、市として何か記念品等を配布するなどで還元的なことを考えてはどうですか。</p>
委員	<p>資料6に関わることが重点的に話し合われていますが、後で詳細な協議という方向で整理させていただきます。</p>
委員	<p>紙ごみの減量は、新聞の折り込み広告がだんだん豪華になり、かなりの量が捨てられていると思う。不要な紙をどんどん生産しているのではないのか。量を減らすので</p>

会長	<p>はなく作らないことで発生量を減らすことが出来ないか。市役所では、ペーパーレスはどれくらい進んでいるのですか。</p>
事務局	<p>ペーパーレス化ですね。出てきたものをリサイクルに懸命になるより出てこないようにしようというのが3Rの一番最初です。廃棄物減量というのは出てきたごみをどうしようかということに終始しがちですが、ペーパーレス化で箕面市ではごみの処理量が少ないと売っていい時代に入っているのかもしれませんが。箕面市では事業者さんでペーパーレス化に手を挙げてくれるところには表彰制度を作る、新聞の折り込みのチラシを減らしたところには特典が付く、そんな時代が来るかもしれません。</p>
委員	<p>市役所内では、インターネットの普及で基本メールでやり取りをしている。2～3年前から全部パソコンでやることとなった。一定ペーパーレス化は推進しています。</p>
事務局	<p>食品ロスやペーパーレス化を市民運動など全市運動として取り組むことは他市にはあまりないことではないのですか。</p>
委員	<p>(2) 今回の案件 ・事業系ごみの新規施策の検証について【資料4】</p>
事務局	<p>【資料4】について事務局説明</p>
事務局	<p>事業所数が平成27年度は3,906に対して平成39年度は3,546と減っているが何か根拠はあるのですか。</p>
委員	<p>箕面市の市勢年鑑に記載の平成21年から24年度の減少値を参考にして推計しています。</p>
事務局	<p>箕面市の厨芥量の4,896tは事業系の数値なのですか。資料2の厨芥量ごみ量7,817tは家庭系の数値なのですか。これらの根拠は。</p>
事務局	<p>事業系と家庭系の組成分析からの推計値ということです。</p>
事務局	<p>【案件2】 その他 ・平成28年度箕面市廃棄物処理実施計画【資料5】</p>
会長	<p>【資料5】について事務局説明</p>
	<p>この計画については、詳細な議論は省略し計画策定までに確認してください。</p>

事務局	<p>【案件2】 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北摂地域におけるレジ袋削減に関する協定締結に向けて 【資料6】
委員	<p>【資料6】について事務局説明</p>
会長	<p>北摂地区のレジ袋削減の協定は、広域的に実行していくことが大事です。買い物かごが当たり前の時代からレジ袋の時代へ、次はマイバックの時代へと行政が時代の流れを先読みし、減量・資源化を考えていかなければならない。先ほどの新聞やチラシについても、ネット時代の影響で減っている。時代の流れを把握して施策を構築してはどうですか。</p>
委員	<p>市町村間の協議のなかだけで、協定締結まで進められたのはすごいことです。</p>
会長	<p>他市の施策を調査し相違点の比較やよい部分は取り入れ、それ以上のことを実施することで箕面らしさを出してほしいです。</p>
委員	<p>行政が主体的に消費者、市民に対してインセンティブをあたえるのは難しいと思います。</p>
委員	<p>健康増進では、滝道ウォーキングで何回か参加されると缶バッチがもらえるが、健康管理に努めると医療費や行政コストが下がりトータルコストが減るため、啓発にも力が入っている。ごみ減量・資源化に協力している人に同様の工夫を取り入れてはどうですか。</p>
事務局	<p>家庭系のごみ組成はわかっているのか。食品ロスはどれくらいなのか。</p>
委員	<p>直近データによると、紙ごみが湿重量では36%、プラスチック類が16.5%、厨芥類が35%です。これで90%以上となり残り10%は繊維類とかゴム皮革類金属類、草木木片です。</p> <p>厨芥類を100%とした比率は、果物類がおよそ20%、貝卵3%、食料品は47%、一般厨芥類30%です。</p>
会長	<p>新聞や食品ロスも徹底的に減量すれば大幅にさがるが、徹底的に出来るシステムが必要と思います。</p>
会長	<p>資料2の家庭ごみの施策の中で目標達成2の目標達成のための減量施策は生ごみの減量と紙ごみの減量とし、市としてそれを重点的に取り組むことです。</p> <p>他にご質問等は、ありますか。</p>

事務局	<p>特に無いようなので、今日の審議会は終了します。 次回の日程をお知らせ願います。</p>
会長	<p>次回の開催予定は10月を予定している。それまでに「箕面市一般廃棄物処理基本計画」の素案を作成し、事前に送付させていただく予定です。</p> <p>以上をもって、平成29年度第2回箕面市廃棄物減量等推進審議会を終了します。</p>